

令和7年9月19日  
建設委員会資料（追加分）  
上下水道局

目 次

【報告事項】

- 1 上下水道料金に関する家計調査について ..... 1 頁

# 1 上下水道料金に関する家計調査について

[経営管理課]

## (1) 家計調査の概要

家計調査は、総務省統計局が統計法に基づき国民生活における家計収支の実態を把握するため、全国の県庁所在市などにおいて抽出により毎年行っているもの。なお、本市では91～96世帯が抽出世帯数となっている。

## (2) 富山市における「上下水道料金」の支出金額について

統計項目は、水道料金と下水道使用料をあわせた「上下水道料金」として集計されており、共同通信社が行った調査結果(令和7年9月14日公表)は以下のとおり。

区分	1985年(S60)～ 1989年(H元) 平均値	2020年(R2)～ 2024年(R6) 平均値	倍率
支出金額	1,922円	6,083円	3.16倍 (全国最高)

\*2人以上世帯、1世帯当たり1か月間の支出金額

\*1985年～1989年平均値は旧富山市の金額

## (3) 支出金額増加の主な要因

富山市は、この40年間で公共下水道の整備を進めた結果、下水道の普及率が急速に伸びたことに伴い、下水道使用料を支出する世帯が増加したことが調査結果に反映されているものと考える。

調査対象期間の初年度である昭和60年(1985)では、富山市の水道普及率は90%を超えていたのに対し、下水道普及率は30%程度であり、大部分の世帯は下水道未接続(し尿くみ取り等)であった。

その後、都市インフラである下水道の整備を推進したことで下水道普及率は上昇し、下水道使用料を支出する世帯が増加したことにより、下水道の整備率が低かった昭和60年頃と比較して「上下水道料金」の家計における負担額が上昇する結果となった。

<普及率の推移>

区分	1985年(S60)	2024年(R6)	差
水道	94.61%	99.00%	+4.39
下水道	37.28%	97.80%	+60.52

\*1985年は旧富山市の数値

\*下水道は、公共下水道、地域し尿処理施設、農業集落排水等の処理人口により算出。

参考 上下水道料金の状況(令和6年3月末時点)

区分	水道料金	下水道使用料	計
富山市	2,310円	3,080円	5,390円
県庁所在地平均	3,267円(3位)	2,588円(37位)	5,855円(18位)
県内市平均	3,147円(3位)	3,385円(1位)	6,532円(2位)

\*出典 令和5年度 地方公営企業決算状況調査(総務省)

\*1か月 20m<sup>3</sup>使用(口径20mm)の場合、消費税込み、( )内は安いほうからの富山市の順位